## 社会福祉法人六高台福祉会 感動体験集

事業所	特別養護老人亦一厶松寿園
対象ゲスト	女性入居ゲスト A様
感動的な場面	フロア食堂ホールで、ゲストとご家族様(息子様)が並んでお座りになっている何気ない光景。お二人とも穏やかな表情をされ外の景色を眺めていらっしゃる・・・ご家族様(息子様)より「入居当初は、母もどこに来たのかわからず不安定な状況もあったと思いますが、今は施設の生活にもだいぶ慣れ、落ち着いてきているように思います。時々、母が「お帰り」という言葉をかけてくれることもあるんですよ。自分ができることは、母が自宅に居るように感じられるように、1度の面会時間を長くするのではなく、面会の回数を増やして母と顔をあわせる機会をつくっていきたいんです。気丈で厳しい母でしたが、たくさんの愛情を受けてきましたから・・・」
感動のポイント	・ゲスト・ご家族の「何とも言えない穏やかな表情」が、これまでの母と子の親子関係が想像でき、その光景がとても微笑ましく心あたたまる場面であったこと ・家ではない施設であっても、自分の居場所があれば、ご自宅のように感じてくださり、親子が一緒の時間を共有できる場面に遭遇できたということ。・大切な親が施設で穏やかに暮らしてほしいという願いや、母に対する恩返しの想いが伝わるお話であったこと。・今後も、ゲスト・ご家族が「施設での生活」を選択して良かったと実感して頂けるよう、ゲスト・ご家族の期待やさまざまな想いに気配りできる私達でなければと、スタッフ間で「使命」を再認識する機会となったこと。

私たちの仕事(介護)、私たちの法人は、このようなことを行っている会社です。